

Lousã

について



ロウザン

ポルトガルの中央部に位置するロウザン (Lousã) は、さまざまな点から興味深い土地ですが、村のほど近くにこの地方最大の見どころであるセーラ・ダ・ロウザン (Serra da Lousã) があることから、ことにスポーツ愛好者の熱い注目を集めています。

コルディレイラ中央山塊 (Cordilheira Central) の南西端に位置するセーラ・ダ・ロウザンは、4,200ヘクタール以上に及ぶ面積を有し、最高地点のアルト・ド・トレヴィン (Alto do Trevim) では標高1,202メートルを記録しています。地質は主に片岩からなり、ヒラギやゲッケイジュのような温帯性常緑樹林が点在しています。それと入れ替わるように、村の周囲の山の斜面や渓谷では、落葉樹がカシの木の雑木林となって現れます。山の南の斜面では、コルク樫やオリーブの木が見られます。さらに標高の高い地点のやせた土壌では、ヒース、ハリエニシダ、エニシダ、ヒトツバエニシダが主となります。この他、周囲の自然には、カバノキ、アメリカンオーク、クリ、さらにスギやマツなどの豊かな植生が見られます。

ひととき美しい景観を誇る場所としては、小気候と地中海性の植生が見られるソブラル森林 (Mata do Sobral)、「レヴァダの道」(Caminho da Levada) に沿ってのびるリベイラ・デ・サン・ジョアン渓谷 (Vale da Ribeira de São João) が挙げられます。この「レヴァダの道」では、道の両側にそびえ立つ片岩の壁と、その間を縫うように点在する雑木林が、鮮やかな色彩のコントラストを見せています。